

芝浦アーバンデザイン・スクール



芝浦アーバンデザイン・スクールは芝浦工業大学デザイン工学科建築・空間デザイン領域が進める大学と地域が連携して都市の魅力を再発見・再検討するプロジェクトです。環境保全、安全安心、持続経済など都市のあり方と建築の意味がいま改めて問われています。教育、研究、社会貢献の3つの学びを通して建築、都市、地域の未来を探ります。2013年度から東京都港区と連携して行なっています。Shibaura Institute of Technology started Urban Design School Shibaura in 2013 autumn as a project of Universities as the Center of Communities (COC) approved by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The School is an academic and social program aimed at reconsidering cities and the built environment through education, research and service to local communities.

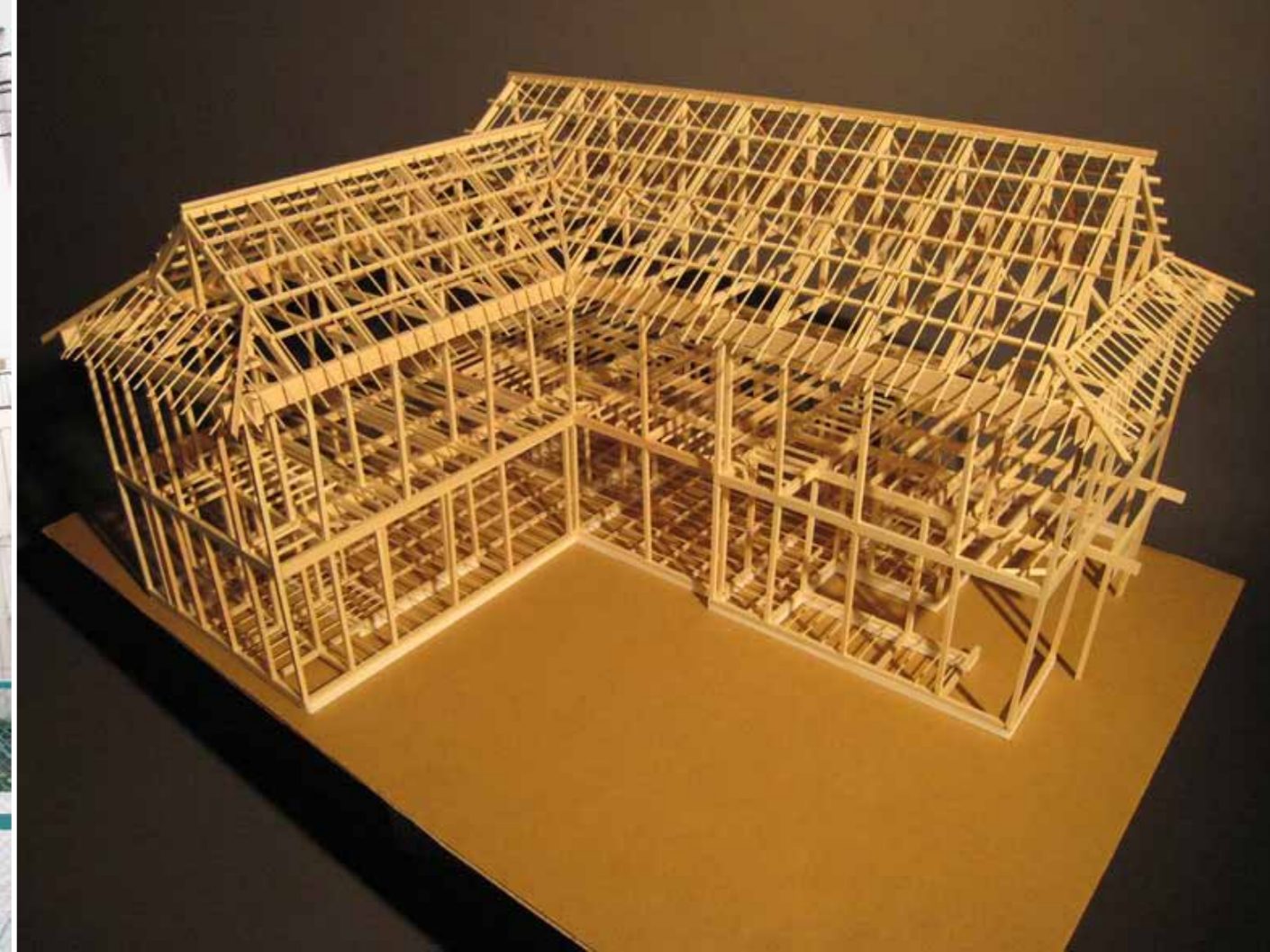
1 教育 地域の建築から学ぶ設計演習

アーバンデザイン・スクールにおける教育の柱は、地域の空間資源を題材に行政や住民と意見交換してデザインを検討し成果を公開する交流型演習です。学生の視野拡大はもとより学生の提案を通して地域が自らを再発見することも期待しています。

2013年度この交流型演習をデザイン工学科プロジェクト演習8で実施しました。大学から徒歩10分に残る港区指定文化財の木造建築「旧協働会館」を取り上げ、現地視察から軸組模型を製作し、活用アイデアとデザインを3ヶ月かけて検討しました。



プロジェクト演習2013 旧協働会館 現状
A historical timber house in the city



プロジェクト演習2013 旧協働会館 軸組模型
Timber frame model

2 研究 建築を通して都市を捉える

アーバンデザイン・スクールは地域の課題を見える化することを研究の目標としています。①地域の現状を模型・図面・写真に表現する、②地域が持つ可能性を建築のデザインを通して検証する、③他地域と比較して対象地域の課題を相対化する。

2013年度は大学の地元港区芝浦・海岸地区について基礎調査、フィールドワーク、卒業研究を行なうとともに、港区と同じ水辺の大都市バンコクを訪問調査し、現地の大学と技術交流・意見交換をしました。



空間調査2013 芝浦・海岸地区 水辺の新旧混合
Fieldwork, mixed water front



空間調査2013 芝浦・海岸地区の模型
Fieldwork, model-making

3 社会貢献 都市と地域に開かれた場

アーバンデザイン・スクールはまちづくりの知見と方法を大学と地域が共有することを社会貢献の目標としています。公開講座では住民・行政・企業・学生が同じ場に集まって議論します。展覧会や発表会を通して大学の成果を開示して地域の反応を教育研究にフィードバックします。

2013年度は東京都港区を念頭に水辺の都市に関する公開講座を3回実施し学内外混じって聴講しました。年度末には報告週間として芝浦キャンパス玄関ホールで2013年度の成果を展示発表しました。



公開講座2013 毎回一般と学生約100名参加
100 audience attended a seminar.



公開講座2013第1回『バルセロナの都市再生』
Revitalization of Barcelona



報告週間2013 展覧会
Exhibition at Campus



報告週間2013 発表会
Presentation at Campus